



18区悠友会会長
浅利 章市 さん
Asari Syouchi

「果報だんごの会」は、地域の年間行事に組み込んでおり、毎年続けてきました。年々地域の子どもの数が減っており、会う機会も少なくなっています。行事を通じて世代間交流の活性化につなげています。



長島小学校6年生
佐々木涼太郎 さん
Sasaki Ryoutarou

地域のさまざまな年代の人と交流できるし、コマ回しやけん玉とか昔の遊びも体験できるので楽しいです。果報だんごも楽しみで、口にした瞬間に萩の小枝があるとすごくうれしく、幸せな気分になります。

開き、地域の子どもや大人計22人が参加した。当日は、まず地域の女性たちが果報だんごの下準備を実施。慣れた手つきで次々と白いだんごを丸めていき、当たりとなるだんごの中に小枝を入れていく。調理を手伝う女性たちは「当たって喜ぶ子どもたちの顔が見たくて、ついつい多くのだんごに小枝を入れてしまおう」と優しくほほえみ、「伝統行事や郷土料理は実際に体験してみないとわからないので、昔のことを教えるのに良い機会となっている」と開催する意義について語る。調理中は隣の人と世間話をして楽しみ、公民館の厨房からは女性たちの明るい笑い声が聞こえてくる。料理を待っている間、子

どもらはトランプやけん玉、メンコなどで交流を深め、果報だんご入りの雑煮やあんこが出来上がるとそちらに興味津々。参加者全員で食卓を囲み、出来上がった料理を食べた一同からは、素朴で優しい味わいに笑みがこぼれていた。郷土料理継承と世代間交流 地域のつながりが強かった昔と違い、現代は人のつながりが疎遠になっている。地域の人が少ないからこその、地域内で交流する機会を積極的につくり、地域の結束力を高めていくことが大切だ。18区では、食を通じて世代間の交流を図るだけでなく、郷土料理の継承にもつなげている。

Chapter 5 「果報だんごの会」 第18区×世代間交流

深い愛情が込められた郷土料理を通じて、世代間の交流を図り、郷土愛を育む。

郷土料理を知らない若者世代 近年、インスタント食品の普及や外食産業の発展、ライフスタイルの変化に伴い食の多様化が進み、日本の食文化が大きく変わってきている。そんな中、年々食べる機会が減少しているのが地域に伝わる郷土料理だ。最近では子どもたちが祖父母と離れて暮らしていることも多く、郷土料理を食べたことがない若者世代が増えてきている。果報だんごは当町や一関市など県南地方に伝わる伝統的な郷土料理であり、だんごの中には萩の枝で作られた小枝が入っている。全部のだんごには入れないため、小枝入りのだんごを口にした場合は、いわば「当たり」。入っていれば、果報(幸運)が授かると言われている。参加者全員で食卓を囲む 第18区では、老人クラブの18区悠友会と18区教育振興運動推進委員会が主催となり、昔ながらの遊びと郷土料理を通じて世代間の交流を図るため、毎年「果報だんごの会」を18区公民館で開催している。本年度は平成29年11月18日に



⑥_カードゲームで遊ぶ子どもたち/⑦_出来上がった果報だんご入りの雑煮を食べ、笑顔がこぼれる/⑧_食べた果報だんごの中に小枝が入っていて、思わずにっこり。子どもたちは果報だんごを口に入れるたびに一喜一憂していた/⑨_今回初めて果報だんごの会に参加したという佐々木さん親子/⑩_会場には遊び道具としてけん玉のほか、コマやだるま落とし、メンコ、将棋などがある。使い方がわからない物は大人が教えている



①_果報だんごを楽しみに待っている子どもたちのため、一つ一つ心を込めて丁寧に作っていく/②_熟練の手つきで次々とだんごを作っていく地域の女性たち/③_果報だんごの会の会場となった18区公民館/④_果報だんご入りの雑煮やあんこだけではなく、おかずとして地域の各家庭から持ち寄った手作りの漬物なども味わう/⑤_会話も楽しみながら手際よく調理をしていく。果報だんごの会は、子どもたちとの交流だけでなく、地域の人同士の交流の場ともなっている

Chapter 6 平泉スタイルの実現

今回紹介した事例以外にも、各行政区ではこれまで続けてきた伝統行事を継続し、新たな課題の解決に向けた地域づくりに取り組むなど、そこで暮らし続けるための知恵を絞っている。人口が減少していく中、地域を再生させていくことは難しいかもしれない。「しかたがない」と諦め、何もしないことは簡単だ。しかし一人一人が、自分のできることから取り組み、支え合い、助け合うことで、住みよい地域社会を実現することはできるはず。「人と人」が結びつくことで、地域の「輪」となる。そして「地域と地域」がつながること、大きな「輪」となる。小さい町平泉だからこそできる暮らし方「平泉スタイル」を実現しよう。

【特集】地域の「輪」—Hiraizumi-Style— 終わり